

くまさん来ないで！

山の麓にある
街灯もないところ
静けさがぼつんと残る道
おうちのあかりだけで

その薄明かりの向こうから
黒い影が見えてきてしまいそうで
手に持つフラッシュライト
遠くにかざして早足で歩く

空には明るい星が光って
その時だけは心も少し
僅かな落ちつきを取り戻し
玄関まであと少しの道

森でも街でもない
この郊外の道
買い物袋 ザックに入れて
スマートフォンの音鳴らす

逃げ場があるようでどこにもない
葉擦れの音に敏感になってきては
一瞬遠くで聞こえる犬の鳴き声
胸の奥が波立つ

近くのおうちのカーテン揺れて
誰かの声に心強くなり
大きな安心を取り戻し
この呼吸も少し浅くなる

今日もなんとか大丈夫だった
これからもどうか くまさん来ないで！
玄関潜っても体の奥に
これまでの鼓動が残っているの